

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	辺地対策事業	担当課	建設課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	政策	便利な生活のための都市基盤の整備	
	施策	道路の整備	
関連する個別計画等	韮崎市辺地総合整備計画	根拠条例等	

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	辺地地域（穂坂町上今井）住民の通行車両及び住民の安全確保と利便性向上のため
事業の手段	辺地対策事業として市道穂坂3号線の道路改良と舗装を行う。
事業の対象	地元住民・土地所有者・道路利用者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)			14,966
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			14,900
	一般財源			66
B	担当職員数(職員E) (人)			0.11
C	人件費(平均人件費×E) (千円)			714
D	総事業費(A+C) (千円)			15,680
主な事業費用の説明		設計業務委託料・工事請負費		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 設計業務委託延長	(m)			600
	2 整備済道路延長累計	(m)			57
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	辺地地域の道路整備には、辺地整備計画を策定し整備を行う。			
	2				
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

		指標名	指標の算出方法	実績値		
				23年度	24年度	25年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	整備率 (%)	整備済道路延長 57m/計画総延長 600m			9.5
	2	延長当り整備コスト(円)	年間工事費 9,347 千円/年整備延長 57m			163,982
	3					
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と成果の内容説明		1	平成 25 年度新たに始まった事業であり、全体道路計画の策定（設計委託）は完了し、工事に着手した。今後は工事のみとなるため整備が加速する予定。			
		2				
		3				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大（コストを集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善（事務的な改善を実施する） <input type="checkbox"/> 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） <input type="checkbox"/> 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） <input type="checkbox"/> 廃止（廃止の検討が必要）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）
	26年度の改善計画（今後の事業展開説明） 辺地計画に則り、順次整備を行う。
過去の改善経過	
課長所見	山間部の工事であり、最適な構造物の選定を図りながらコスト削減を行いながら続行する。当初予定とおり 10 年間（L=1.2km）の計画で行くのであれば予算の増額が必要である。